

平成26年度産業労働ビジョンに係る主な取組について

○新しい産業労働計画の策定に向けた検討の実施【予算額8,719千円】

平成28年度からの5か年を計画期間とする新しい産業労働計画の策定に向けた委託調査や計画策定委員会等を開催する。

- 1 基礎調査の実施
計画策定の骨子づくりに必要な分析や、アンケート調査などを実施する。
- 2 計画策定委員会の開催
新しい産業労働計画づくりの検討を行うため、「産業労働計画策定委員会(仮称)」や、その下に具体の検討を行う「産業・労働部会(仮称)」を設置する。
・計画策定委員会の開催：2回、産業部会・労働部会の開催：各2回
- 3 地域産業労働会議の開催
県内各地域で地域産業労働会議を開催する。
・地域産業労働会議の開催：6地域各1回

施策の柱1：中小企業底力強化プロジェクト

○中小企業の資金繰り支援【融資枠5,002億円、予算額1,794億円】

産業の新陳代謝を促進し、地域経済の活性化を図る観点から創業者向け資金の見直しや、景気回復に伴う設備資金の需要増加に応えるための見直しを行うとともに、原材料価格の上昇や消費税率の引上げ等によって影響を受ける中小企業者の資金繰りを支援するための見直しを行います。

- 1 「創業等支援資金」の拡充
融資期間10年の設備資金を新設するとともに、利率を全国で最も低い水準となるよう、0.4%引き下げます。また、設備資金の据置期間を延長します。
- 2 「小規模企業等振興資金」の拡充
【通常資金】に融資期間10年の設備資金を新設します。
- 3 「サポート資金【経済対策特別】」の拡充
取扱期間を平成27年3月31日まで1年間延長し、利率を0.1%引き下げるとともに、融資期間10年の運転資金を新設します。
- 4 「サポート資金【経営あんしん】」の特例措置の延長
売上高減少要件の緩和措置(通常10%以上⇒3%以上に緩和)を、平成27年3月31日まで1年間延長します。

施策の柱2：次世代成長産業の育成・振興

○次世代自動車産業の支援

将来の成長が期待される次世代自動車における研究開発や普及促進などの取組を支援する。

- 1 自動車安全技術推進事業費【予算額5,400千円】
産学行政で構成する「自動車安全技術プロジェクトチーム」において、自動車安全技術の開発・普及の取組を推進する。
・自動車安全技術に係る企業の展示会出展を支援
・安全技術搭載自動車に係る講習会及び体験試乗会の実施
・大学・企業等による自動車安全技術に係る研究会の開催



- 2 次世代自動車インフラ整備推進事業費【予算額5,000千円】
EV・PHVの本格普及、FCVの市場投入を控え、「あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会」において、次世代自動車の普及と充電インフラ・水素ステーションの整備を推進する。
・EV・PHV・FCVの普及に向けたフォーラム及び展示・試乗会の実施
・市町村と連携し、水素ステーションの整備促進及び理解増進のためのセミナー等を実施
・県庁に来庁者向け充電インフラを設置<環境部関連事業>

○県営名古屋空港機能及び民間航空機生産・整備拠点の整備

「アジアNO.1航空宇宙産業クラスター形成特区」構想を推進するため、民間航空機生産・整備拠点の形成に必要な整備を行う。

- 1 民間航空機生産・整備拠点用地の整備【予算額1,270,740千円】
民間事業者に提供するため、存置工作物等を撤去し、用地を整備する。
<整備か所>
平成25年度に取得予定の国有地5.2ha、空港用地2.1ha
- 2 空港機能の整備【予算額2,070,765千円】
民間航空機の生産・整備拠点として提供する用地を確保するため、駐車場を集約し、立体駐車場の建設を行う。

施策の柱3：グローバル展開への対応・内外交流の拡大

○タイ・バンコクをターゲットに戦略的な交流を促進

成長著しいアジアの活力を取り込むため、東南アジアの重要拠点であるタイ・バンコクをターゲットに、戦略的な事業を実施する。

- 1 経済交流推進事業【予算額4,215千円】
タイ・バンコクに海外情報センターを開設するとともに、タイ政府経済関係省庁と経済交流に関する協議や現地進出企業とのネットワークミーティング等を実施する。
- 2 観光プロモーション【予算額3,300千円】
現地旅行会社を対象とする観光説明会や商談会、現地旅行会社の訪問を実施するなど

○なごやめしのPR方法等を検討【予算額350千円】

当地域の食文化を代表する「なごやめし」を全国ブランドとして確立するため、県・名古屋市共同の委員会を立ち上げ、戦略的なPR手法等について検討する。
【委員会構成】会長：知事、市長、委員：行政、マスコミ、企業、学識者等

○ミラノ国際博覧会において本県の魅力を発信【予算額11,621千円】

ミラノ国際博覧会(平成27年開催予定)において、「なごやめし」などのユニークな食文化を始めとする本県の多彩な魅力や愛知万博の理念・成果をアピールするため、日本館のイベント広場において実施予定のステージイベント、ワークショップ等の催事に関する基本計画・運営計画を県・名古屋市共同で策定する。

【2015年ミラノ国際博覧会の概要】

会期：2015年5月1日～10月31日(6か月間)
開催地：イタリア共和国ミラノ市郊外
テーマ：「地球に食料を、生命にエネルギーを」
想定参加国等：140か国
想定入場者数：約2,000万人



○武将観光イベント「あいち合戦ワールド」を開催【予算額18,900千円】

県内外の武将や甲冑をテーマに活動する団体・武将隊が参加する武将観光イベント「あいち合戦ワールド」を開催することにより、「武将のふるさと愛知」を全国に発信する。

【あいち合戦ワールド2014in大高緑地（仮称）】

時期：平成26年秋

場所：県営都市公園大高緑地（名古屋市緑区）

イベント内容：あいち戦国姫隊、名古屋おもてなし武将隊など各地武将隊によるステージイベント、甲冑武者行列・甲冑試着体験、県内市町村による観光・グルメPR



施策の柱4：就労促進に向けた人材対策

○緊急雇用創出事業基金による雇用機会の提供【予算額4,582,284千円】

国の交付金による基金を活用し、県・市町村が、失業者等の雇用を要件とする事業等の実施を民間企業等に委託し、雇用機会の提供等を行う。

- 1 地域人づくり事業（新規）
地域の人材育成を図る雇用拡大事業及び在職者の処遇改善に関する事業を実施。
- 2 起業支援型地域雇用創造事業（継続）
起業後10年以内の民間企業、NPO等に事業を委託。

○技能五輪・アビリンピックあいち大会2014を開催【予算額480,583千円】

平成26年11月に県内8市14会場において『技能五輪・アビリンピックあいち大会2014（第52回技能五輪全国大会・35回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック））』を開催する。

- ・大会開催の準備及び実施・運営
競技会場の設営・運営、式典の準備・設営・運営、出場選手等の輸送・宿泊支援、推進協議会事務局の運営
- ・選手の育成・強化
中小企業や団体等に所属する選手への支援、合同公開練習会の実施



施策の柱5：生き生きと働ける環境づくり

○「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の実施

女性の力が最大限発揮できるよう、M字カーブの解消を目指し、女性の活躍促進に向けた取組を推進する。

- 1 あいち女性の活躍促進会議の開催【予算額1,019千円】
経済団体、労働団体、企業、大学、国の機関等をメンバーとする会議を開催し、「女性の活躍＝経営戦略」であるとする考え方の浸透や企業等トップの意識改革促進を図る。
- 2 女性管理職養成セミナーの開催【予算額1,457千円】
企業から推薦を受けた女性中堅社員を対象に管理職養成セミナーを開催し、民間企業における女性管理職の登用促進、女性人材の育成強化を図る。
- 3 理系女子進路選択支援シンポジウムの開催【予算額546千円】
女子中高生、保護者、教員、大学関係者等を対象にシンポジウムを開催し、女子中高生の理系進路選択支援を行い、製造業等に従事する女性技術者及び研究者の拡大を図る。
など